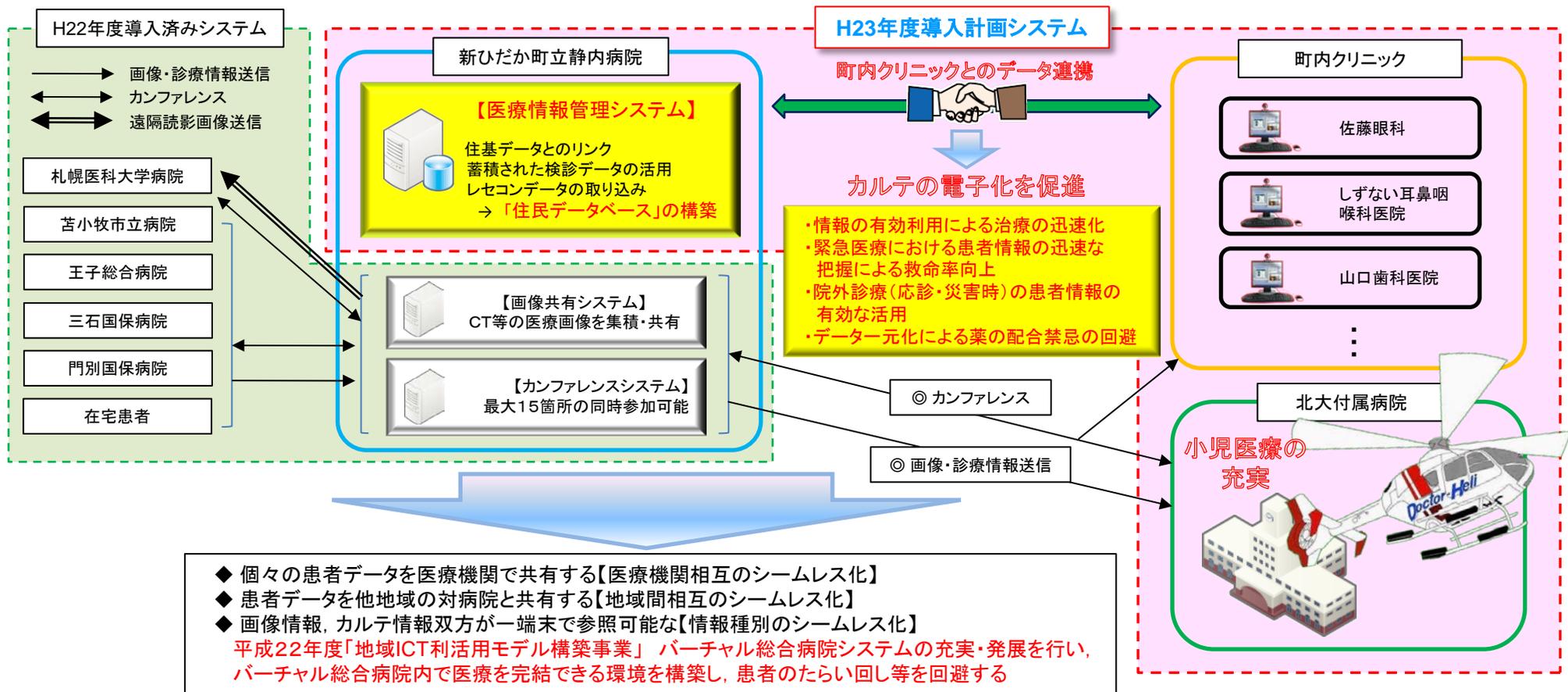


地域ICT利活用広域連携事業・イメージ詳細図

実施団体名	運営主体	利活用分野	主なシステム機器等
新ひだか町	新ひだか町立静内病院	遠隔での医療支援, カンファレンス, 在宅医療支援	医療情報管理システム, 画像共有システム, カンファレンスシステム, 在宅医療システム

事業概要	期待される効果
公的病院を軸とした医療資源の総合保管・共有化ネットワークの実現	地域住民の緊急医療・在宅医療を可能にし, 安心安全定住を目指す



- ◆ 個々の患者データを医療機関で共有する【医療機関相互のシームレス化】
 - ◆ 患者データを他地域の対病院と共有する【地域間相互のシームレス化】
 - ◆ 画像情報, カルテ情報双方が一端末で参照可能な【情報種別のシームレス化】
- 平成22年度「地域ICT利活用モデル構築事業」バーチャル総合病院システムの充実・発展を行い, バーチャル総合病院内で医療を完結できる環境を構築し, 患者のたらい回し等を回避する

■ 医療情報管理システム
 新ひだか町内クリニックとデータを共有し, 当初は検診データの相互参照, レセコンデータの取り込みを行い, 将来的にはカルテの電子化, カルテ情報の相互参照を行い, バーチャル総合病院を実現を目指す

■ 画像共有システム
 H22年度に導入した, CTやレントゲン等の画像データを共有するシステム。
 H23年度は札幌医科大学病院と共に北海道の中核病院として機能する北大付属病院を対象に加え本システムの充実を図る

■ カンファレンスシステム
 画像共有システムと同様にH22年度に導入したシステムで, Web会議システムによるカンファレンスを実施する。
 H23年度は北大付属病院と新ひだか町内クリニックを新たに対象に加え, 本システムの充実を図る